

# 認知機能問診票

◆ **太枠内** に書かれている項目において、【1ヶ月に数回】該当する項目すべてにチェックを入れて下さい。

FAST stage	☑ 特徴	☑ 臨床的特徴	評価
認知機能の障害なし	<input type="checkbox"/> 主観的および客観的機能低下は認められない	<input type="checkbox"/> 5～10年前と比較して職業あるいは社会生活上、主観的および客観的にも変化は全く認められず支障をきたすこともない。	
非常に軽度の認知機能の低下	<input type="checkbox"/> 物の置忘れを訴える <input type="checkbox"/> 喚語困難	<input type="checkbox"/> 名前や物の場所、約束を忘れていたりすることがあるが年齢相応の変化であり、親しい友人や同僚にも通常は気がつかれない。 <input type="checkbox"/> 複雑な仕事を遂行したり、込み入った社会生活を適応していくうえで支障はない。多くの場合、正常な老化以外の状態は認められない。	
軽度の認知機能の低下	<input type="checkbox"/> 熟練を要する仕事の場面では機能低下が同僚によって認められる <input type="checkbox"/> 新しい場所に旅行することは困難である	<input type="checkbox"/> 重要な約束を忘れてしまうことがある <input type="checkbox"/> 初めての土地への旅行のような複雑な作業を遂行する場合には機能低下が明らかとなる。 <input type="checkbox"/> 買い物や家計の管理あるいはよく知っている場所への旅行など日常行っている作業をするうえでは支障はない。 <input type="checkbox"/> 熟練を要する職業や社会的活動から退職してしまうこともあるが、その後の日常生活のなかでは障害は明らかとはならず、臨床的には軽微である。	
中等度の認知機能の低下	<input type="checkbox"/> 夕食に客を招く段取りをつける、家計を管理する、買い物をする程度の仕事でも支障をきたす	<input type="checkbox"/> 買い物で必要な物を必要な量だけ買うことができない。 <input type="checkbox"/> 誰かがついていないと買い物の勘定を正しく払うことができない。 <input type="checkbox"/> 自分で洋服を選んで着たり、入浴したり、行き慣れている所へ行ったりすることには支障はないために日常生活では介助を要しないが、社会生活では支障をきたすことがある。 <input type="checkbox"/> 単身でアパート生活している老人の場合、家賃の額で大家とトラブルを起こすようなことがある。	
やや高度の認知機能の低下	<input type="checkbox"/> 介助無しでは、適切な洋服を選んで着ることができない <input type="checkbox"/> 入浴させる時、なだめすかし説得することが必要なこともある	<input type="checkbox"/> 家庭での日常生活でも自立できない。 <input type="checkbox"/> 買い物を一人ですることができない。 <input type="checkbox"/> 季節に合った洋服が選べず、明らかに釣り合いがとれていない組み合わせで服を着たりするためにきちんと服を揃えるなどの介助が必要となる。 <input type="checkbox"/> 毎日の入浴を忘れることがある。 <input type="checkbox"/> なだめすかして入浴をさせなければならない。 <input type="checkbox"/> 自分で体をきちんと洗うことができるし、お湯の調整もできる。 <input type="checkbox"/> 自動車を適切かつ安全に運転できなくなり、不適切にスピードを上げたり下げたり、信号を無視したりする。 <input type="checkbox"/> 無事故だった人が事故を起こすようになる。 <input type="checkbox"/> 大声を上げたりするような感情障害や多動、睡眠障害によって家庭で不適応を起こし医師による治療のかかわりがしばしば必要になる。	

FAST stage	<input checked="" type="checkbox"/> 特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 臨床的特徴	評価
高度の認知機能の低下	<input type="checkbox"/> (a) 不適切な着衣	<input type="checkbox"/> 寝巻きの上に普段着を重ねて着てしまう。 靴紐が結べなかったり、ボタンを掛けられなかったり、ネクタイをきちんと結べなかったり、左右間違えずに靴を履けなかったりする。 着衣に介助が必要になる。	
	<input type="checkbox"/> (b) 入浴に介助を要する入浴を嫌がる	<input type="checkbox"/> お湯の温度や量が調節できなくなり、体もうまく洗えなくなる。 <input type="checkbox"/> 浴槽への出入りもできにくくなり、風呂から出た後もきちんと体を拭くことができない。 <input type="checkbox"/> 上記のような障害に先行して風呂に入りたがらない、嫌がるという行動が見られることがある。	
	<input type="checkbox"/> (c) トイレの水を流せなくなる	<input type="checkbox"/> 用をすませたあと水を流すのを忘れて、きちんと拭くのを忘れる。 <input type="checkbox"/> 用をすませたあと服をきちんと直せなかったりする。	
	<input type="checkbox"/> (d) 尿失禁	<input type="checkbox"/> 時に(c)の段階と同時に尿失禁が起こる。もしくは数ヶ月間の間隔をあけて尿失禁が起こる。 <input type="checkbox"/> 尿失禁は、尿路感染やほかの生殖器泌尿器系の障害が無く起こる。 <input type="checkbox"/> 尿失禁は、適切な排泄行動を行ううえでの認知機能の低下によって起こる。	
	<input type="checkbox"/> (e) 便失禁	<input type="checkbox"/> 便失禁が(c)や(d)の段階と同時にみられることが多い。 <input type="checkbox"/> 便失禁が(c)や(d)の段階とは別の段階にみられることが多い。 <input type="checkbox"/> 焦燥や明らかな精神病様症状のために医療施設に受診することがある。 <input type="checkbox"/> 攻撃的行動や失禁のために施設入所が考慮された。	
非常に高度の認知機能の低下	<input type="checkbox"/> (a) 最大限約6語に限定された言語機能の低下	<input type="checkbox"/> 発語量の減少と話し言葉のとぎれがしばしば認められる。 <input type="checkbox"/> 完全な文章を話す能力が失われる。 <input type="checkbox"/> 話し言葉はいくつかの単位あるいは短い文節に限られ、語彙は2、3の単語のみに限られてしまう。	
	<input type="checkbox"/> (b) 理解しうる語彙はただ1つの単語となる	<input type="checkbox"/> 一見、言葉が完全に失われてしまったと思われてから数ヶ月後に突然最後に残されていた単語を一時的に発語することがあるが、理解しうる話し言葉が失われたあとは叫び声や意味不明のぶつぶつ言う声のみとなる。	
	<input type="checkbox"/> (c) 歩行能力の喪失	<input type="checkbox"/> ゆっくりとした小刻み歩行となり、階段の昇り降りに介助を要する。 <input type="checkbox"/> 歩行がゆっくりとなる、歩幅が小さくなる。 <input type="checkbox"/> 歩く時に前方あるいは後方や側方に傾く。 <input type="checkbox"/> 寝たきりとなって数ヶ月後拘縮が出現した。	
	<input type="checkbox"/> (d) 着座能力の喪失	<input type="checkbox"/> 寝たきりの状態でも介助なしで椅子に座っていることは可能である。 <input type="checkbox"/> 介助なしで椅子に座ることができない。 <input type="checkbox"/> 笑ったり、噛んだり、握ることはできる。	
	<input type="checkbox"/> (e) 笑う能力の喪失	<input type="checkbox"/> 刺激に対して眼球をゆっくり動かすことは可能である。	
	<input type="checkbox"/> (f) 昏迷および昏睡		